

## 【新潟税務署管内税務団体協議会長賞】

### 「私たちの命を支える税金」

新潟市立坂井輪中学校

三年 皆川 和奏

皆さんは救急車を利用した事がありますか？私は幼い頃、一度喘息の発作を起こし救急車で搬送された事がありました。その時、私は呼吸が出来ないほど苦しく、車内で処置を行ってもらったので大事には至りませんでした。この際、私を救ってくれたのは救急救命士の方々と皆さんの納めている税金です。

現在日本では、救急車の利用は行政サービスのひとつとされており、その費用は私達の税金で賄われています。そのため救急車は原則無料で利用する事が出来ます。ちなみに、救急車が一回出動するのに必要な費用は、およそ四万五千円と言われています。

最近、救急車の利用を有料化する意見も出ており、年々、軽傷にも関わらず救急車を利用する方々の人数が右肩上がりで救急救命士の人手不足という現状も理解出来ませんが、もし、実際に有料化になった際、どのような事が起こるでしょうか。重篤な病気を患っており、命の危険が迫っているかもしれない場面で金銭的利用で救急車の要請を躊躇し、取り返しのつかない事態に陥ったり、なんて事が例え起きたら悲しいですよ。

このような悲しい事態を防ぐのが私たちが日々納めている税金です。そんな税金ですが、どのような事に利用されて

いるかという点、私達が一番身近に感じる事だと学校の校舎の建設や教科書などの教育費や冬での積雪が多い新潟県内では道路の除雪に使われています。他にも医療介護、新エネルギー対策、災害からの復興、ゴミの処理、地域医療の充実など様々です。実は、私は数年前まで税金を納めたところで何になるのか分からずなんとなくで支払っていました。ですが今回の事をきっかけに税金は私達の暮らしを支えているものだと身近に感じる事が出来ました。

最近よくニュースなどで増税という言葉を目にしますが、いつか私達が納めた税金が未来で何らかの形で私達のためになったり誰かの命を救えるかもしれない可能性を信じて生活していきたいです。それに加え、救急車の適切な利用についても改めて見つめ直していきたいですね。